

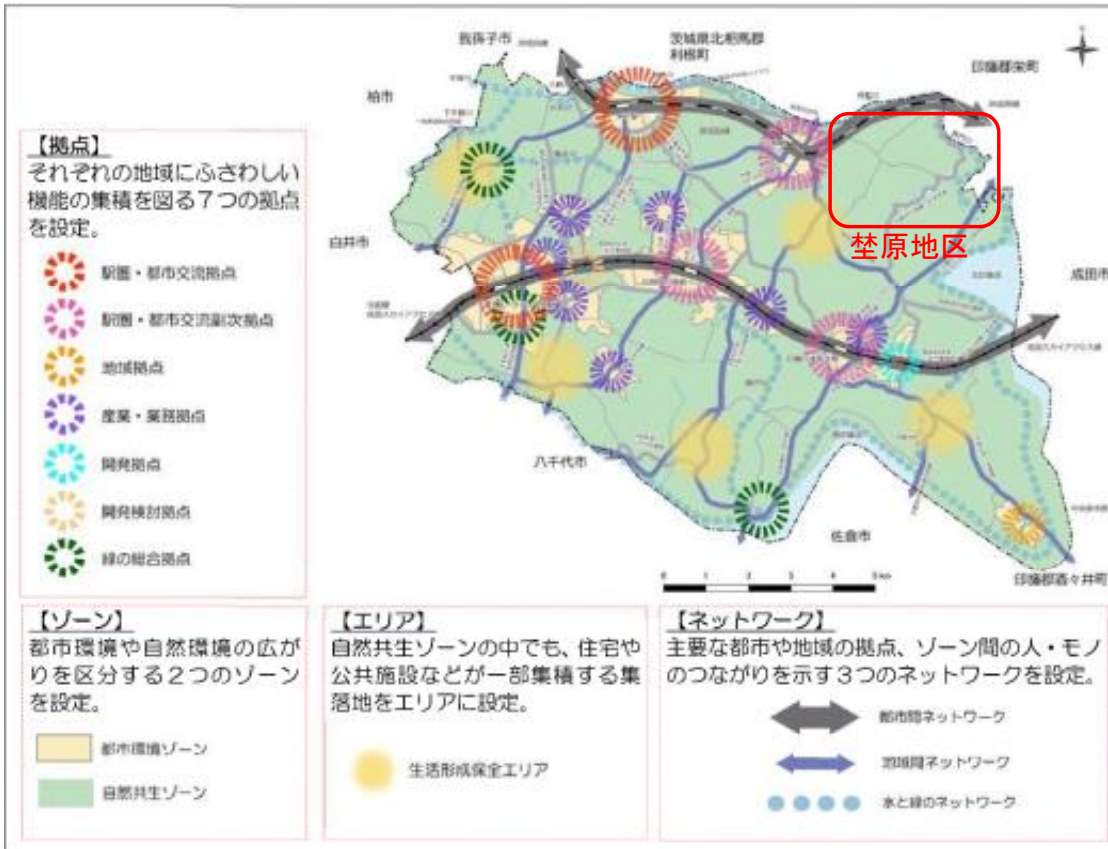
第1回 (仮称) 若草大橋延伸線協議会ワーキンググループ

2. 上位計画の状況

2.1 印西市都市マスタープラン等

- 印西市は、東京方面や成田国際空港へのアクセスが良く、特に千葉ニュータウン地域は強固な地盤と質の高い都市基盤を背景に、住宅、企業及び大型商業施設が集積。
- 市の北東部に位置する埜原地区は、北印旛沼周辺に広がる田園地帯のほか、国道356号や主要地方道鎌ヶ谷本埜線の沿道などに集落地が形成。
- 豊かな地域資源を保全・活用することで、都市部と農村地域の交流を促し、人口減少・少子高齢化が進む状況の中でも、持続可能な集落地の生活形成を目指している。

○印西市 将来都市構造図



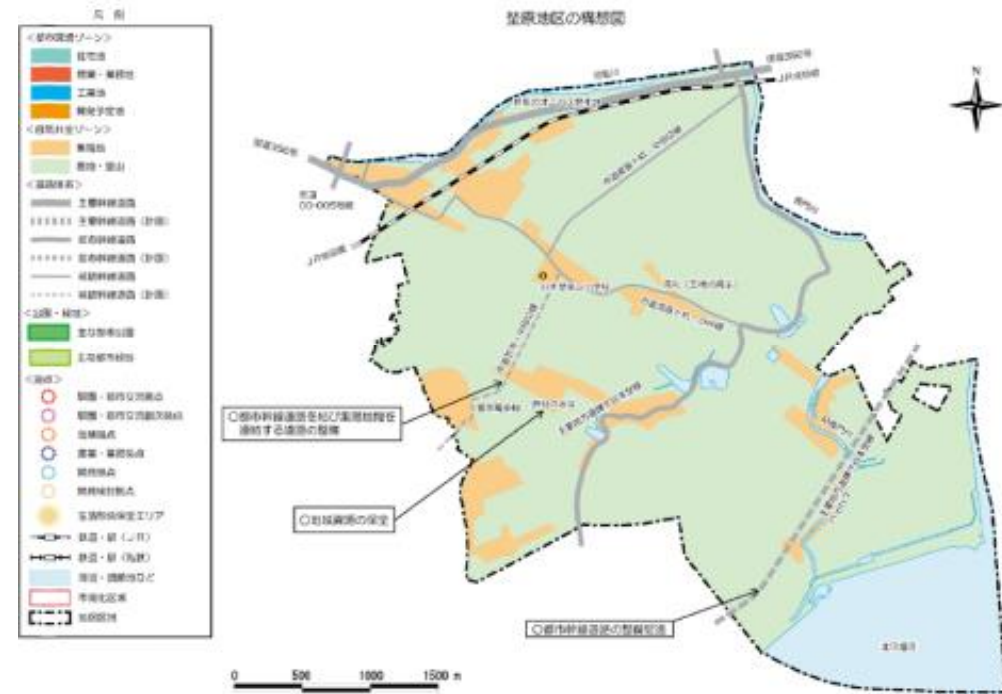
<出典：印西市都市マスタープラン概要版>

○埜原地区

日本の原風景が広がる中で、自然の恵みが感じられるまち

本地区は、北印旛沼やその周辺に広がる水田が形成する田園風景、また、長門川や将監川などの豊かな自然環境の中に溶け込む集落地が形成された地区です。

このため、豊かな地域資源を保全・活用することで、都市部と農村地域の交流を促し、人口減少・少子高齢化が進む状況の中でも、持続可能な集落地の生活形成を目指します。



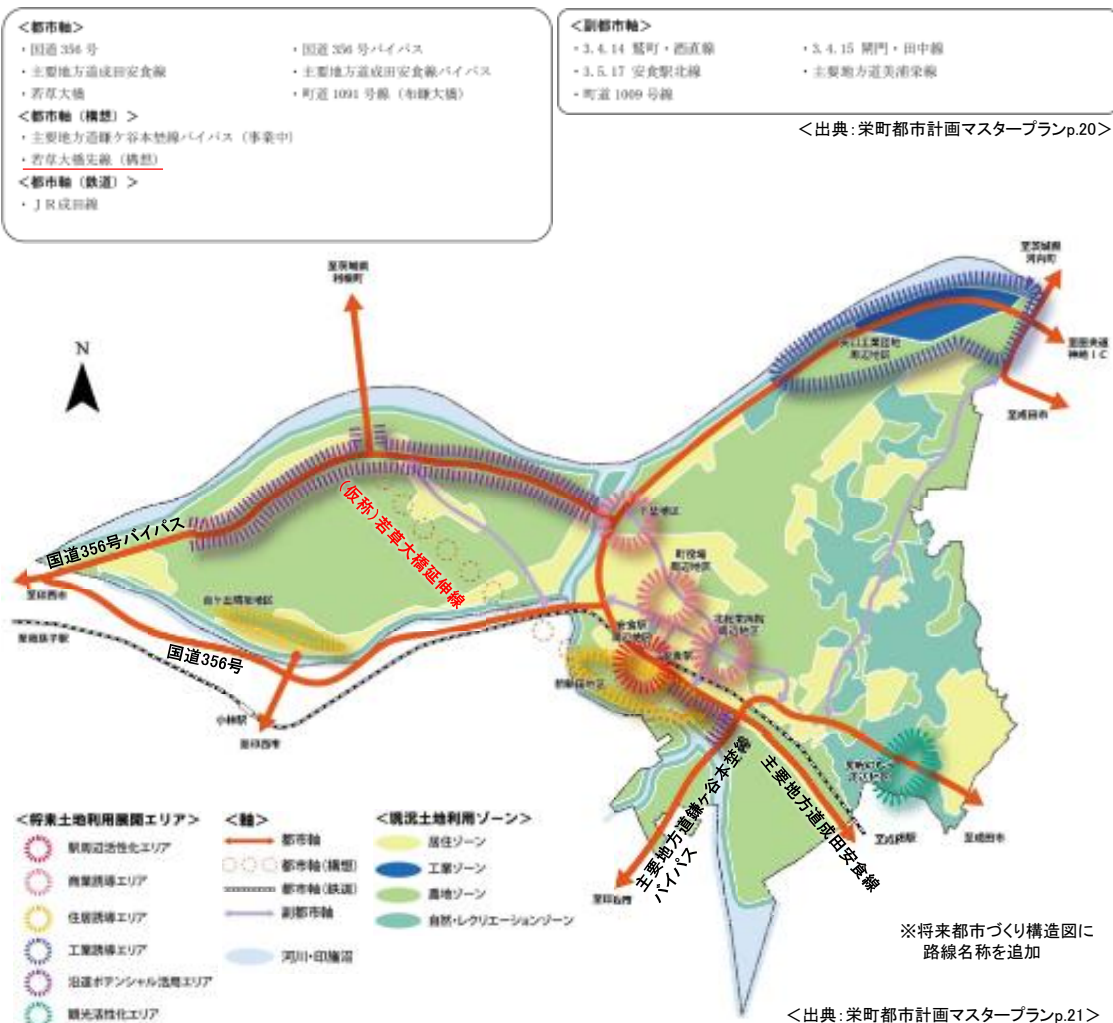
<出典：印西市都市マスタープランp.190>

2. 上位計画の状況

2.2 栄町都市計画マスタープラン等

- 栄町は、昭和52年に都市計画を定め、その後、開発に伴い、人口は大幅に増加し、産業も発展し、町の活性化が図られてきたが、現在は、少子高齢化、産業の縮小傾向等、社会情勢の変化などの影響から様々な課題を抱えている。
- (仮称)若草大橋延伸線は、周辺都市を結び、広域での人や物の活発な活動を支える「都市軸」として位置づけ。
- 国道356号バイパス、鎌ヶ谷本埜線バイパスの沿道は、沿道ポテンシャル活用エリアとして位置づけ。流通業務施設の誘導を図るなど、雇用の創出に向けたエリア形成を目指している。

○栄町 将来都市づくり構造図



■将来土地利用展開エリアの考え方

エリア名	エリア形成の考え方
駅周辺活性化エリア	都市機能をコンパクトに集約するまちづくりを進める観点から、公共交通の結節点として、多くの住民が日常的に利用する駅周辺に「駅周辺活性化エリア」を配置し、観光客や住民の暮らしを支える店舗の集積を図るなど、にぎわいの創出に向けたエリア形成を目指します。<安食駅周辺地区>
商業誘導エリア	現況の集客施設の立地状況や既存の交通ネットワークなどを踏まえ、「商業誘導エリア」を配置し、暮らしを支える店舗の集積や広域的な需要を満たす集積型商業施設の誘導を図るなど、にぎわいととも雇用の創出に向けたエリア形成を目指します。<町役場周辺地区・北総栄病院周辺地区・下野地区>
住居誘導エリア	人口減少時代に見合ったコンパクトな集約型都市づくりを進める観点から、利便性が高く、居住環境として魅力のある駅を中心とした生活圏域を踏まえ、「住居誘導エリア」を配置し、居住地の受け皿とともになぎわいの創出に向けたエリア形成を目指します。<前新田地区・南ヶ丘隣接地区>
工業誘導エリア	本町の主要な産業地として食品加工を中心とした工場等が集積している矢口工業団地の周辺区域に「工業誘導エリア」を配置し、産業基盤の強化を図るととも雇用の創出に向けたエリア形成を目指します。<矢口工業団地周辺地区>
沿道ポテンシャル活用エリア	順次開通が見込まれる首都圏中央連絡自動車道による広域ネットワーク並びに成田空港からの距離的優位性や発着容量増に伴う貨物取扱量の更なる拡大を活かし、 <u>広域交通や物流の要となっている主要な幹線道路の沿道に「沿道ポテンシャル活用エリア」を配置し、流通業務施設の誘導を図るなど、雇用の創出に向けたエリア形成を目指します。</u> <国道356号バイパス・主要地方道成田安食線・主要地方道鎌ヶ谷本埜線バイパス(事業中)>
観光活性化エリア	町内外の交流の核である房総のむらの周辺区域に「観光活性化エリア」を配置し、観光需要を高めるとともに、本町を訪れる交流人口の拡大を図るなど、にぎわいの創出に向けたエリア形成を目指します。<房総のむら周辺地区>

※表に該当する地区を追加。

<出典: 栄町第5次総合計画(基本構想・前期基本計画)p.24>

■軸の考え方

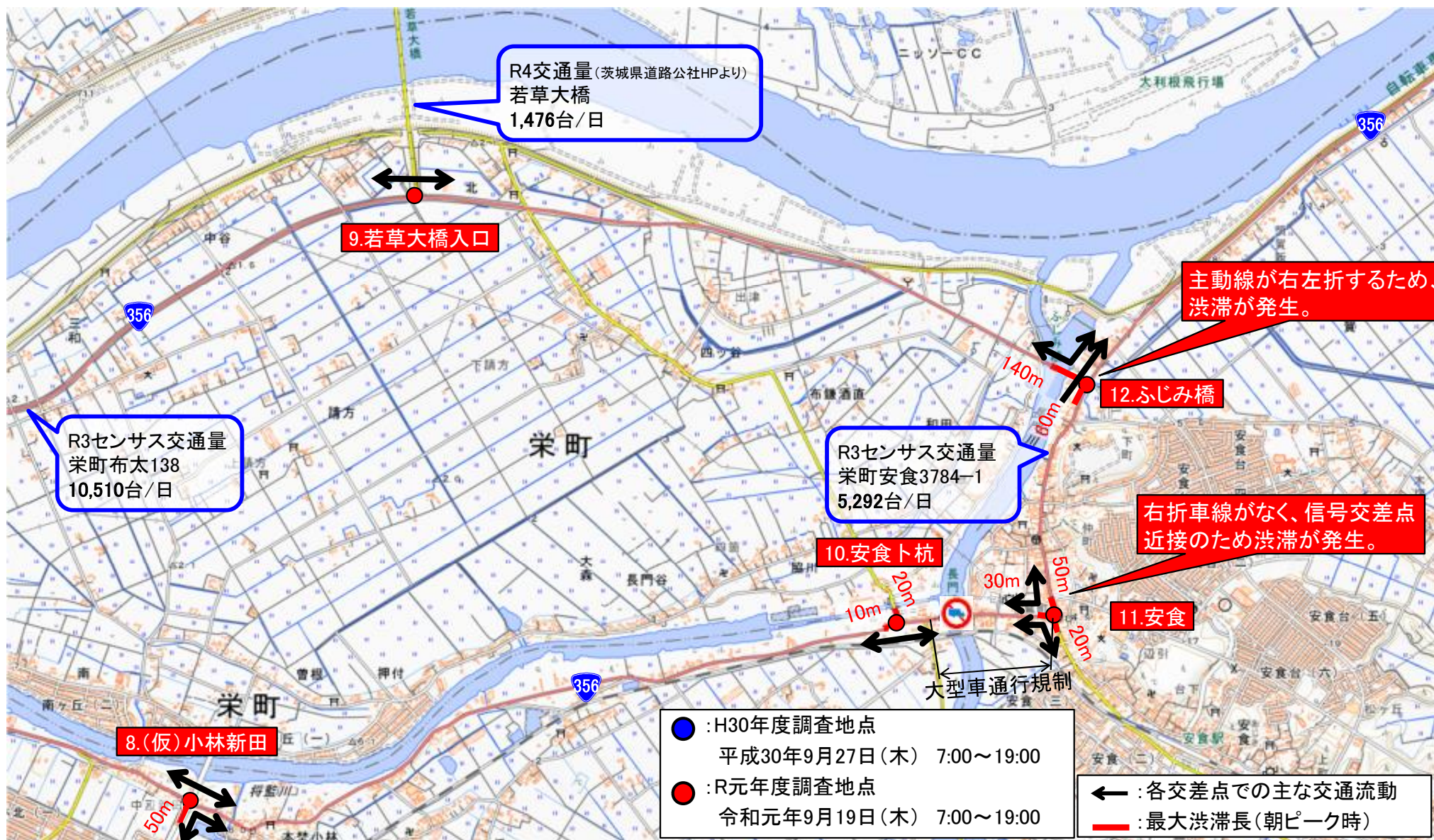
軸名	軸の考え方
都市軸	<u>本町の周辺都市を結び、広域での人や物の活発な活動を支える広域的な軸として、幹線道路及び鉄道を「都市軸」として位置づけます。</u>
副都市軸	町内の各エリアを連絡し、町内の住民の暮らしに関わる活動や産業活動を支える身近な幹線道路を、「副都市軸」として位置づけます。

<出典: 栄町第5次総合計画(基本構想・前期基本計画)p.24>

3. 周辺の交通状況・課題

3. 2交通調査(若草大橋～栄町中心部)

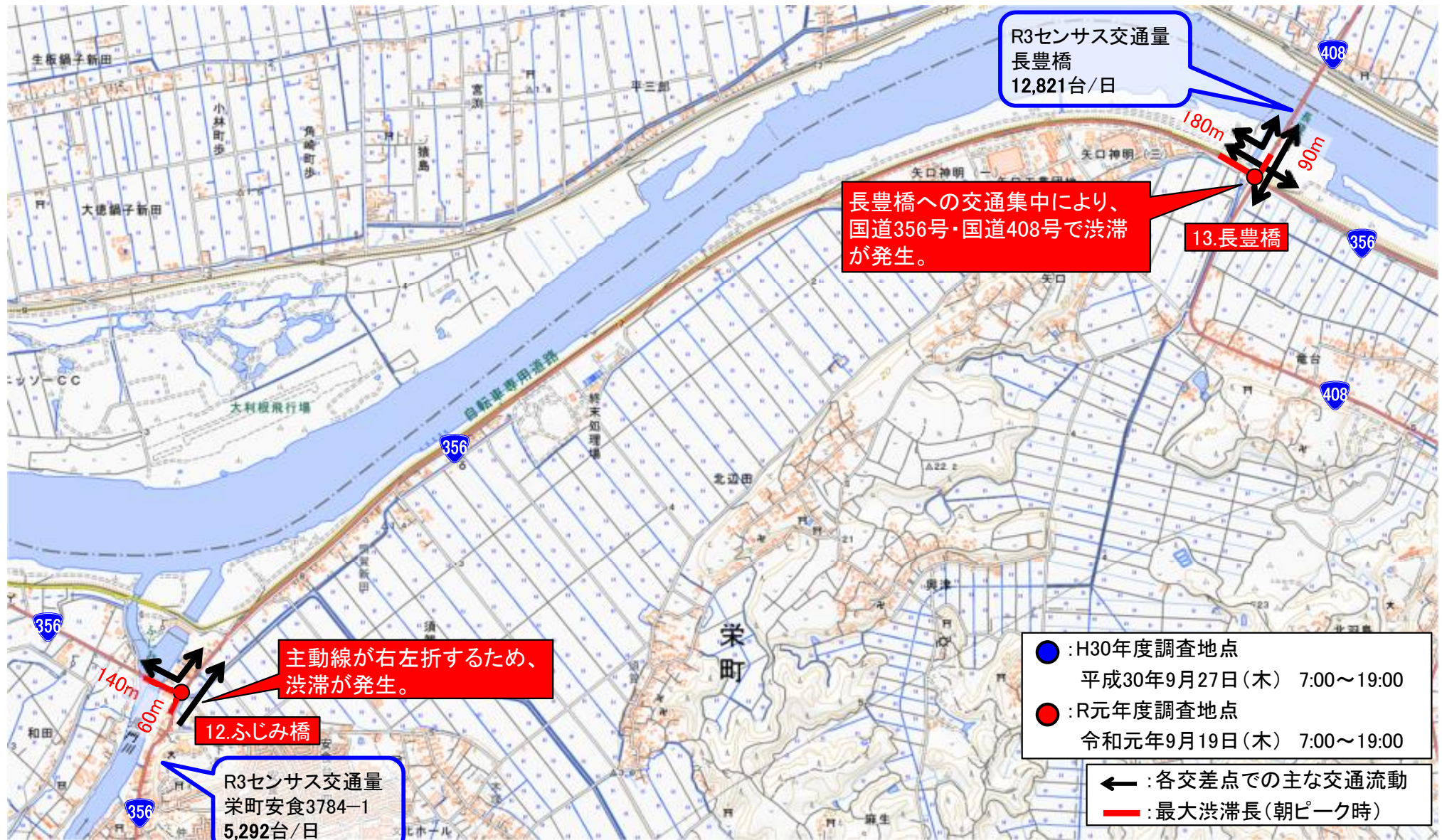
- 若草大橋の日交通量は1,476台/日で、3つの渡河橋(栄橋・若草大橋・長豊橋)の日交通量合計(33,750台/日)の約4%であり、渋滞は発生していない。
- 安食市街地の国道356号の交差点で渋滞が発生している。



3. 周辺の交通状況・課題

3. 3交通調査(長豊橋周辺)

➤ 長豊橋の日交通量は12,871台/日で、3つの渡河橋(栄橋・若草大橋・長豊橋)の日交通量合計(33,750台/日)の約38%を占め、一部方向で渋滞が発生している。

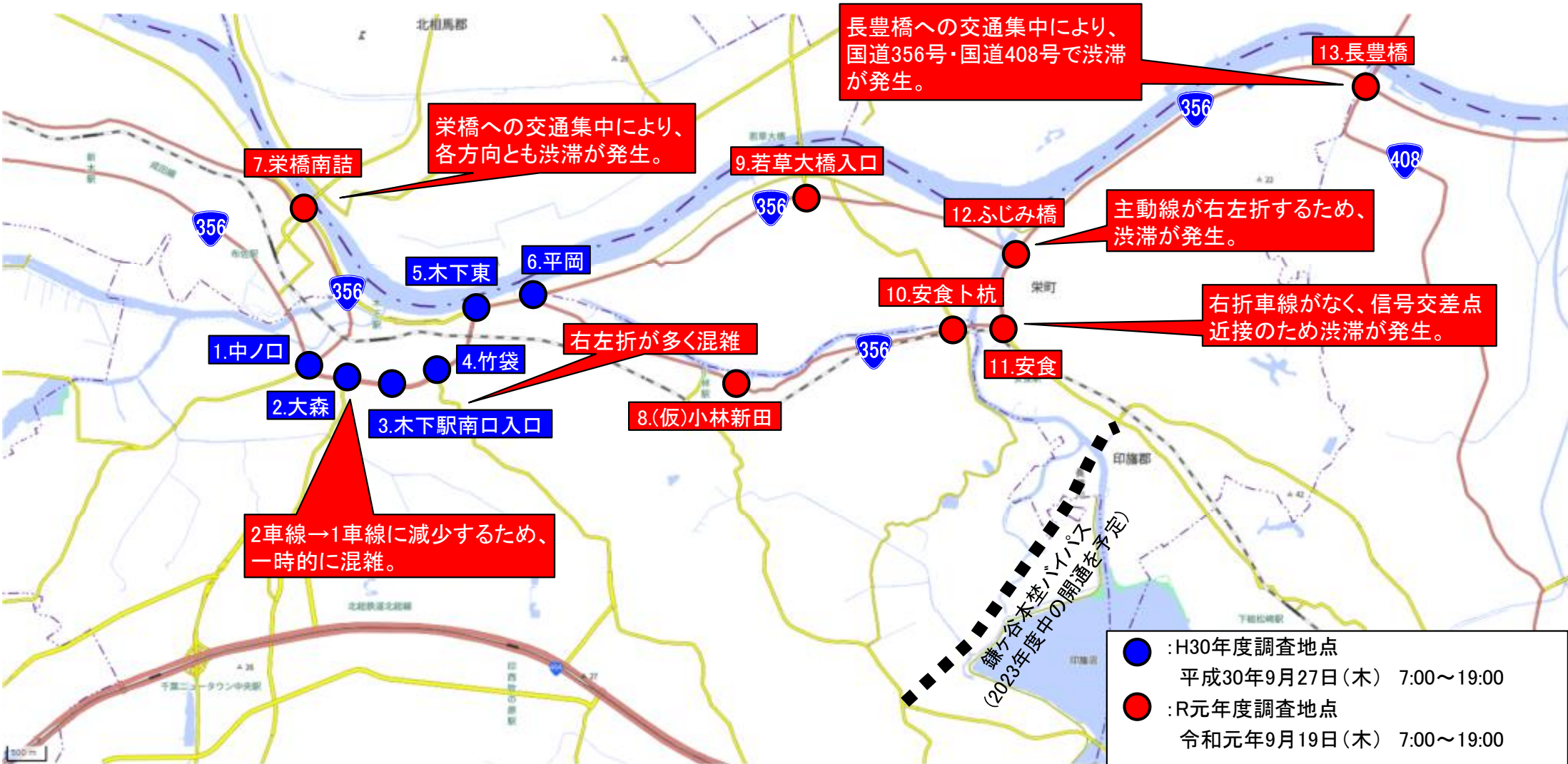


<地形図出典: 地理院地図データ(国土地理院)を基に作成>

3. 周辺の交通状況・課題

3. 4交通渋滞(とりまとめ)

- 利根川の渡河橋である栄橋・長豊橋が交通のボトルネックとなり渋滞が発生している。
- 南北方向の道路にアクセスするため、国道356号に交通が集中し渋滞が発生しており、安食交差点付近においても渋滞が発生している。



4. 今後の進め方

第1回 (仮称) 若草大橋延伸線協議会



(仮称) 若草大橋延伸線協議会 ワーキンググループ

【検討事項】

- ・ 道路交通の現状と課題
- ・ 地域の現状と課題
- ・ 地域の将来像
- ・ 事業の必要性・整備効果
- ・ 配慮事項
- ・ 概略ルート・構造の検討 等



第〇回 (仮称) 若草大橋延伸線協議会



道路計画の具体化